



<今の自分が未来の自分の支えとなる！>

年が改まりました。新年早々、能登での大地震や羽田空港での飛行機どうしの衝突・炎上事件などがあって、「明けましておめでとうございます」とはとても言ってもらえない状況ではありますが、2024年が、多くの幸福を受け取れるような、少しでも良い年になるように、祈念しましょうね。

さて、箱根駅伝では、一昨年の出雲、全日本、箱根の3つの駅伝、昨年の出雲、全日本の2つの駅伝を制した駒澤大が優勝候補筆頭だったわけですが、青山学院大が見事に逆転優勝をしました。青山学院大が駒澤大を逆転した3区の走りは、まさに圧巻でした。

かなり前の話ですが、就職活動(就活)で「箱根駅伝を走った」と言うと、それだけで就職試験に合格するという話を聞いたことがあります。確かに、あの檜舞台で走れる大学生は、多くの厳しい試練を乗り越えて目標を達成しているわけですから、それくらいの評価を受けても良いのかもしれません。

今から15年くらい前に、アメリカでリーマン・ショックという金融危機があって、その影響は世界中に広がりました。日本も一気に不景気になり、大学生の就職先がなくなるということがありました。私が東久留米総合高校の進路指導部にいた時、リーマンショックから1年後に就活をしたという進路関係業者の若い女性から、当時の就活の様子について聞いたことがありました。

就活は、「マイナビ」や「リクナビ」という就活支援サイトに登録するところから始まります。そのサイトで自分の希望の職種の会社を検索し、良さそうな会社の会社説明会に申込み、参加し、良いと思ったら入社試験を受ける、という流れになるわけですが、その当時の入社試験は募集人数が少なかったこともあって、選抜が厳しく、4次試験くらいまで続くのは当たり前で、中には10次試験くらいまで続く会社もあったそうです。

誰もが、不採用を通知する通称「お祈りメール」(不採用通知メールの末文が「今後のご健闘をお祈り申し上げます」のような文になっていたからそう呼ばれていた。「お祈りメール」が来ることを「祈られる」と言ったりもした)が来て、心が凹み、そこから頑張っ立ち上がって、対策を練り直して、再び会社説明会に出席する、ということをして、何度くり返していったわけですが、「お祈りメール」には不採用となった理由は書いていないので、メールが来るたびに、次の試験の対策のために、自分のどこが悪くて不採用になったのか、自分で自分のダメ探しをするのだそうです。ところがそれは、自分で自分の欠点を無理矢理見つけていくような作業なので、繰り返していくうちに、精神的にどんどん苦しくなって、でも、「就職する」という目標は変えられないので、必死に自分を奮い立たせながら、とにかく頑張りを続けたのだそうです。

話を聞きながら、「いったい、何社くらい受けたんだろう？10社？いや、20社くらいなのかな？」と疑問に思ったので、彼女に質問してみたところ、「60…、いや80くらいは受けましたかね。説明会に参加した数は、確実に100を超えていましたから」と彼女はこともなげに言いました。私は、その数字の大きさに度肝を抜かれました。ただの80回ではなくて、自分で自分にダメ出しをしていく80回ですから、かなり壮絶な体験だったはずですよ。

一体全体、どうやってその辛い試練を乗り越えることができたのだらうと思って、彼女に聞いてみたら、「友人の多くは『あの苦しい大学受験を戦い抜いたのだから絶対できる！と自分に言い聞かせた』と言っていました。私は指定校推薦だったのでそういう受験体験もなく、仕方がないから中学時代の部活を思い出して、『あの3年間を耐え抜いたのだから、この就活も絶対やり遂げられる！』と自分に言い聞かせました。実際はそれほど厳しい部活ではなかったのですが(笑)、それくらいしかなかったの」と言っていました。

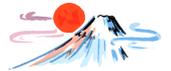
私は、目の前でこやかに話をしている女性に心底感服するとともに、人間は、苦しくても頑張らなければいけない場面になると、他の何かではなく、**頑張っやり遂げた過去の自分を自分の支えにするのだ**と改めて思いました。

井草高校は、自分が自分でいられる居心地の良さがある分、乗り越えるのが大変な試練というものが、若干、少ないように思います。だから、いざ試練が目の前に出現した時に、井草生は、若干、精神的に弱くなってしまうのではないかなと思ったりもするのですが、皆さん、いかがですか？

今の自分を支えるのが過去の自分であるように、**未来の自分を支えるのは、今の自分の頑張りに**です。1, 2年生の皆さん、しんどいことやムリ！と思うようなことから逃げるのは絶対にやめましょう。試練は、皆さんをパワフルに、スキルフルに、そして豊かに、高く成長させてくれるのです。そして、実際に、これからしんどい受験期を迎える3年生の皆さん、未来の自分のために、しっかり戦い抜いて、「**自分はしっかり頑張った**」と言える経験にしていきましょう！私は浪人した人間なので分かるのですが、社会に出れば、浪人したかどうかなんて関係ありません。結果がどうだったかということより、**頑張ったかどうか**が大切なので、**頑張っ、全力を尽くして、やり遂げましょ！** 応援しています♥



●1年生・2年生の皆さん、未来の自分をイメージしていますか？



1月末には都立高校の推薦入試が行われます。1年生は1年前、2年生は2年前に中学生として受験期を迎えていたわけですが、どうですか？その頃の自分と比べて、立派な高校生になれていますか？よりパワフルに、よりスキルフルに、より豊かになれていますか？そして、同時に、自分の未来を見つめる力もついていますか？

井草高校の進路指導の中心スローガンは、「卒業して10年後の28歳の自分をイメージしよう！」です。今時の高校生は、未来の自分を積極的に考えることをしなくなっているように見受けられますが、高校を卒業してからの人生は、自分のプロデュース次第で、いくらでも自分好みに舵を切れる人生ですし、むしろ、そうしていかなくてはいけない部分もあるのです。中学生だった自分より、今の自分の方がほんのちょっとでも素敵になれているとしたら、28歳の自分はずっと素敵になっているはず。その素敵な自分のイメージを、行き当たりばったりに任せるのではなく、自分で作っていきましょう。もちろん、中には、今がちょっとと不本意で、だから未来を考えたくないという人もいるでしょうが、でも、そういう人こそ、では、本意の自分のイメージってどういうものなのか、真剣に考えてみてください。

年の初めです。未来をイメージするのにふさわしいタイミングです。未来の自分に胸を膨らませましょう。

それから、1/22（月）の模試は全力を尽くしましょう！模試で手を抜く人が、本番の入試ですごく成功するという例を、私はほとんど見たことがありません。学校の試験とは異なる、入試と同じような形式の問題に全力を尽くすことが、本番での成功につながるのです。ぜひ、真剣に向き合しましょう。

●3年生の皆さん、「その1点をけずりだせ！」です！

今週末は共通テストですね。

今年の共通テスト志願者は、昨年の512,581人より20,668人減って491,913人です。全科目の中で、理系も文系も受験するリーディングは、受験人数が一番多い科目ですが、昨年は46万人強が受験をしました。46万人を100点で単純に平均すると、1点あたり4600人となりますが、実際は、山型の分布になるので、平均点付近の人数はもっと多くなり、昨年は1点あたり2万人を超えていました。つまり、平均点付近の人は、自分と同じ得点の人が2万人以上いて、1点違うだけで2万人分の差ができるということなのです。大学入試は、高校の定期考査とは違って、満点を狙う必要はなく、合格ラインを超えていさえすれば良いのですが、一般の大学入試でも、合格ライン付近では、1点の違いが合格を分けることになるのです。

今年も箱根駅伝に出場した東洋大のスローガンは「その1秒をけずりだせ」です。これは、2011年の箱根駅伝で、トップからわずか21秒の遅れで優勝を逃したという悔しい経験から生まれたものですが、これに習って言えば、大学入試の場合は「その1点をけずりだせ」です。

マーク型の問題の場合は、終了時点で塗られていないマークが無いようにしましょう。マークは、塗らなければ得点になりませんが、たとえてたためでも塗っておけば正解になる場合もあるのです（大学入試に関しては、勘もでたためも実力のうち）。記述問題の場合も、最後の最後まで解答を続けられれば、解ききれなくても、もしかしたら部分点ももらえるかもしれません。最後の最後まで1点をけずりだす努力を続けた人が志を遂げるのです。井草生の根性を見せてやりましょう！

◆共通テスト関係

- ・交通手段の確認はしましたか？休日ダイヤですよ。電車が急に止まったらどうするかも考えていますか？
- ・急に発熱等で具合が悪くなった場合は、本試験を欠席して、追試験を受けることができます。追試験は原則1日分丸々か2日分丸々かです（午前中受けて、午後の分だけ追試とかはできません）。手続き等を「受験上の注意」で確認しておきましょう。
- ・机の上に置けるものを確認しましょう。マークを塗る用の鉛筆は、尖ってない方が塗りやすいです。会場には時計が無いので、腕時計も忘れずに。
- ・地歴・公民や理科②で2科目受験の場合は、大学の合否判定が第1解答科目で行われるのか、高得点科目で行われるのかを確認して、どの順番で受験するのか決めましょう。（得意な方を第1解答科目にすれば良いと思います）
- ・数学Ⅰ・Aの問題や数学Ⅱ・Bの問題は、冊子の中ごろから始まるので、始まる前に表紙に書いてあるページを確認しましょう（注意事項も当然確認）。
- ・マークミスのチェックや自己採点のために、マークした番号は問題冊子に記録しておきましょう。
- ・自己採点はすべての試験が終わってからするようにしましょう。（早めにしても、クヨクヨするだけなので）
- *1/15（月）は共通テスト自己採点の提出日です。8:40集合。黒ボールペンとスマホ等のWeb入力ができるものを忘れずに（採点し直す場合もあるかもしれないので問題冊子も持ってきた方が良いでしょう）。受験者全員出席のこと！

◆その他

- ・共通テスト利用型や一般入試の出願準備は大丈夫ですか？調査書をもったら、期日に間に合うように出願しましょう。受験料の振り込みも忘れずに。
- ・辛くなったり、うまくいかないことがあったら、いつでも学校を活用しましょう。担任の先生などにアポを取って、相談したり発散したりしましょう。卒業するまでは、大切な井草生ですから♥